

18 ボクシング競技

1 期 日 令和元年6月7日(金) 総合検診・計量

(出場選手全員)	12時00分～	新庄市体育館
監督会議・組み合わせ抽選	13時00分～	同上
テクニカルミーティング	14時00分～	同上
開会式	14時30分～	同上
競技開始	15時00分～	同上
6月8日(土) 検診・計量	8時00分～	
準決勝	12時30分～	
6月9日(日) 検診・計量	8時00分～	
決勝	11時00分～	
閉会式	13時頃予定	

2 会 場 新庄市体育館 (0233-22-0681)

3 競技規則

- (1) (一社)日本ボクシング連盟競技規則による。
- (2) 階級 男子 ピン級からミドル級までの8階級とする。
女子 ピン級、ライトフライ級、フライ級、ライト級の4階級とする。

4 競技方法

- (1) 個人選手権とするが、男子は学校対抗も兼ねる。女子は学校対抗はなしとする。
- (2) トーナメント方式で行い、優勝・2位・3位(2名)を決定する。
但し、3位決定戦は行わない。

(3) 得点規定

- ア 抽選の不戦勝を除いて1勝毎に勝ち点を1点与える。
- イ 優勝者には5点、2位には3点、3位には1点を加点する。
- ウ 途中棄権の場合は、検診を受けた場合にその順位の得点を与える。

(4) 学校順位決定法

- ア 個人得点の合計点で決定する。
- イ 得点と同じ場合は、チャンピオンの数による。
- ウ アイが同数の場合は、2位の数による。
- エ アイウが同数の場合は、3位の数による。
- オ エで決定できない場合は、同位とする。
- カ 全日制課程と定時制課程は区別する。
- キ 各階級で各校の出場選手が2名を超える場合は、事前に申請した2名までの選手の得点を合計する

5 参加資格

- (1) 基準要項に準ずる。
- (2) 2019年度山形県ボクシング連盟に学校登録している学校の生徒であること。
- (3) 2019年度(一社)日本ボクシング連盟に選手登録済みの生徒であること。
- (4) 選手は本年度の総合健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。総合健康診断については選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の署名捺印がされていること。なお、一般診療以外に受診しなければならない総合健康診断の内容は以下のとおり。

ア 血液、尿検査は年1回実施していること。

イ 心電図、レントゲンは以下の節目に実施していること。ボクシング開始時、中学、高校の各入学時。

ウ CTスキャン（またはMRI）で、頭蓋内病変、及びくも膜のう胞のない証明を選手手帳に明記、または別紙証明書を添付していること。

- (5) 選手は選手手帳を携帯すること。不携帯や記載等に不備がある場合出場させない。なお、記入できるページが2ページ以上あること。（コピー不可）途中で記録欄がなくなった場合は失格となる。表紙に写真を貼付する。新規手帳の場合は前の手帳も合せて携帯する。
- (6) 女子選手は申し込み時に女子健康申告書を提出すること。
- (7) 練習開始後満8ヶ月以上を経過し、予め健康診断を受け校長の出場認知を得た者であること。但し、1年生については出場資格証明書を必ず添付すること。

6 参加制限

- (1) 監督1名のほか参加資格を満たす者で、各階級に各高校での申し込み人数の制限は設けない。
- (2) 監督は当該校の教員とし、選手のみ参加申込みはいかなる場合でも受付けない。

7 参加申込及び宿泊申込基本要項に準ずる。

8 表彰及び上位大会出場枠

- (1) 基準要項に準ずる。
- (2) 全国高校総体出場枠
男子：各階級の優勝者8名。（最終決定は、東北高校選手権大会時に東北連盟が決定）
- (3) 東北高校選手権大会出場枠
男子：1部 各階級の優勝者8名 2部 山形県ボクシング連盟が選出した8名
女子：各階級の優勝者4名

9 連絡事項

(1) 組合せ

ア 競技初日の総合検診・計量で参加可能と証明された選手で監督会議において決定する。

イ 申込み人数が各階級とも8名を越えた場合は、1・2部制を採用して組合せを行う。（1部には、県新人大会、斎藤旗選手権大会に出場した者及び3年生を優先的に入れる。）

（シード選手に関しては事前に行われる顧問会議にて総合的に判断し、決定する）

- (2) 選手点呼を検診計量の10分前に行う。その時点で監督（引率教員）の点呼も行う。監督不在の場合は選手を失格とする。
- (3) 日本連盟通達の頭髪・顎髭について十分に指導しておく。
- (4) 事前に日本連盟に選手登録を行い、選手手帳に写真を貼り、必要事項を記載した選手手帳を携帯すること。不所持者は失格とする。
- (5) セカンドには各チーム3名まで着くことができ、そのうち一人以上はチーフセカンドとしての役割を持つ者とする。

チーフセカンドは、当該年度の日本連盟役員登録済みで日本連盟公認セカンド資格を所持しており、大会初日に実施されるテクニカルミーティングに参加したものとする。

サブセカンドは、日本連盟役員登録又は日本連盟選手登録をしており、日本連盟公認セカンド資格を所持したものとする。